



校訓
自律・敬愛・剛健

可愛山同窓会報

発行編集

鹿児島県立川内高等学校

可愛山同窓会

所在地 〒895-0061

鹿児島県薩摩川内市御陵下町 6-3

同窓会事務局

電話 (0996) 20-2031

学 校

電話 (0996) 23-7274



可愛山同窓会の皆様へ

可愛山同窓会会長

中保

知大

(川高20期)



コロナ禍という世界的非常事態の中、本部をはじめ全国の支部でもこの三年間同窓会は開催できませんでした。卒業式・入学式も在校生の同席のない変則な中で挙行され、恒例の卒業五十年生・二十五年生の卒業式参列は十名(例年は百名以上)だけという気の毒なものでした。運動会は保護者の観戦ができない状況で行われ、親子とも楽しさを失いました。塀の外からそっと見ている母親らしい人の姿がありました。そしてさらに今年には、世界史が大きく動くようなウクライナ情勢に対して、世界大戦を避けるべく努力している国連や政治家たちの動きが注目されています。生徒たちがどのように反応しているのか気掛かりです。この波乱の時代に遭遇している生徒たちには憐憫の情を覚えます。

また、一昨年に引き続き昨年も同窓会総会ができませんでしたので「書面表決」という形をとらせていただきました。事業報告・決算報告、次年度事業計画・予算案などについて各学年幹事の方々に書面を送り、各事項について認否の表決を図るとともに、質疑事項には改めて回答させていただきました。

そうした中で、今年の開校記念講演会の講師は元巨人軍投手・木佐貫洋氏(川高51期生)で、テーマは『努力すれば必ず(どんな形であれ)報われる』でした。自分の幼少期から永利小学校・川内南中学校・川内高校・亜細亜大学から巨人軍へ入団し、社会人になるまでを楽しくわかりやすく話してもらいました。講演内容はこの同窓会報に特集されています。

可愛山同窓会は本部以外に、東京・関西・福岡・熊本・宮崎・阿久根・鹿児島・鹿児島県庁の8か所で運営されています。この同窓会報や卒業式の名簿巻末に各支部の所在地、連絡先・組織などを紹介しています。コロナ禍が収まり開催できるようになりましたら、最寄りの同窓会に是非参加して「楽しく集う誇り高き同窓会」を楽しんでいただきたいと思います。今後とも皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。



新たな気持ちで

鹿児島県立川内高等学校
校長 荒田 修

可愛山同窓会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に多大なる御支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年四月の着任以来、素直で頑張り屋の生徒たちやそれを献身的に支える本校職員のおかげで、素晴らしい経験をさせていただいております。赴任前に多くの方々から「歴史と伝統ある素晴らしい学校ですよ」「いい学校に決まってるよかったですね。」等のお言葉をいただいたことは、昨年度の会報に書かせていただきましたが、まさにそのことを実感する一年でした。

学業の面では、多くの生徒が各教科から出される課題に悪戦苦闘しながらも、自分のやるべきことに積極的に取り組み、特に今年三月卒業の第74期生は、国公立大学をはじめ、私立大学、専門学校に多くの生徒がチャレンジし、自分の目標とする進路を達成しました。また公務員や民間企業に就職を希望していた生徒も、しっかりと自分の進むべき道を見つけていきました。部活動では、それぞれの部において、活動方針を定め、毎日熱心に、かつ楽しく活動しています。その活動の成果として、男子バスケットボール部が県総体四連覇を達成し全国大会に出場したのを筆頭に、漕艇部、卓球部、陸上部

水泳部も全国大会、九州大会に駒を進めました。また、放送部も全国大会の出場権を獲得しました。その他多くの部が、県大会において活躍、上位大会への切符にあと一步というところで、まさに「文武両道」「文武で躍動」を体現している生徒たちを大変頼もしく、誇らしく思います。

コロナ禍であつても、本校においては、生徒の学びを止めず、また一生に一度の体験の機会を奪わないために、基本的な感染予防対策をとった上で、できるだけ通常に近い形の教育活動を行う工夫をしていますが、いつたんは落ち着いていた感染状況も、年明け以降は、感染力の強い変異株の影響でまた制限されることが増え、卒業式には、今年も卒業後50年を迎えられた先輩方の出席を御遠慮いただくことになりました。

しかしながら、そんな状況においても、生徒たちは高校生らしく、生き生きと活動しています。授業中、教師の言葉に真剣に耳を傾ける様子やタブレットを使いこなして自分なりの考えをまとめていく様子、放課後の部活動ではつらつとした姿勢や元気な声。どれも川内高校という、学びの場での日常の風景ですが、この日常があることが何よりもうれしく、またありがたい

く思っています。この生徒たちの成長を校長として間近で見られることに心から感謝しています。さて、四月七日には、令和4年度の入学式を挙行し、二・三九名の新入生を迎え入れました。来賓として同窓会からも御臨席を賜り、中俣会長には御祝辞をいただきました。歴史を身近に感じられるこの地で高校生活を送れることを誇りに思い、文武両道に一生懸命に取り組んでほしいとお言葉に、新入生も決意を新たにされたのではないかと

思います。なお、生徒数の減少により六クラスとなつてしまひ、校長として力が足りなかつたことを皆様方にはお詫びしなければなりません。来年度の生徒募集については、県教育委員会とも連携しながらしっかりと取り組んでまいります。

あわせて、本年度、新入生を加えた七五一名の川内高校生が、これまで同様、学業だけでなく、部活動や学校行事、地域活動など様々な活動に意欲的に取り組み、健やかに成長するよう心から願うとともに、精一杯の支援をしてまいります。

結びに、本校の良き校風と伝統をふまえて、グローバルに物事を考え、地域で活躍する人材育成を目指した教育活動に全力を注ぐことを改めてお誓いするとともに、可愛山同窓会のますますの御発展と会員の皆様の御繁栄を御祈念申し上げ、年度当初の御挨拶とさせていただきます。

創立記念日講演会 演題 「努力すればいつか必ず『どんな形であれ』報われる」 木佐貫 洋 (川高51期)



さきほど校長先生から私の経歴について説明してもらつたんですけど、改めて小さいころからの生い立ちを話しながら、みなさんも川内高校の生徒なので私の川内高校時代の話を、生い立ちの中でも多めに話していけたらいいと思います。よろしくお願ひします。

演題にあります『努力すればいつか必ず』(どんな形であれ)報われる」という、どんな形であれという所を、私の場合はこんな感じでやっていますというのをちよつとお見せして、話を締めていきたいと思います。

私は来月で42歳になります。1980年生まれ、申年になります。高校3年生の皆さんが申年だと思つたので、私と二回違うので、私が24歳の時に2004年で生まれていると思つています。今の高校生と二回りも違う、自分もそんな年齢になつてきたんだなと、今回の講演の

話になったときに振り返つたことでした。24歳なので私と同級生の子供さんがいるかもしれませんが、実際私の親戚の子も川内高校に通つていると聞いていますので、私も娘が二人いるのですが、娘に話すような感じで、皆さんで言うような感じが話してたなと思つています。42年生きてきて、こんな感じにしたらよかつたかなという自分の失敗談も入れながら、これからこんな風にしたらいいいのではないかなという話をしたいと思つています。

私が幼い頃、父親が中越バブルに務めておりました、大小路にある自宅で生活していたという記憶があります。その自宅の近くにあるブロック塀の上で遊んで落ちて怪我をして、よく母親から怒られていました。段ボールを川内川の堤防へ持っていき、草スキーをして遊んだりもしていました。その後、保育園の年長の時に、永利町へ引越し、永利保育園に入りました。その頃、ラグビーをしていました。今はないかも知れませんが、西中跡の場所で、当時はまだ走つていた宮之城線の電車を見ながらラグビーのタックルやパスの練習をしていました。

その後、永利小学校へ入学し、ラグビーは辞めてメルヘンスイミングスクールで水泳を始めました。小学校へは2・8kmありましたが、2つ上の兄に置いて行かれないように走つてついで

短距離は不得意でしたが、この頃から長距離は速くなつて行つたかなと思つています。

小学校3年生からは永利小学校のソフトボールチームに入り、5年生からは川内サンダースで野球を始めました。サンダースの練習場までも家から5kmほどありましたが、冬の間はその距離を走つて練習へ行つておりました。現代の野球においては筋力トレーニングの重要性が浸透してありますが、当時の投手の練習方法としては、走るか投げるかしかない時代でしたので、とにかく走つてトレーニングしていました。

川内南中では軟式野球の部活動に入り、野球を続けました。ここで一つ失敗談があるのですが、中学生時代にゲームにドはまりしてしまひ、野球の練習よりもゲームをしていたのではないかという時期がありました。ある日、野球の練習中に外野ノックを受けていたら、ボールが見えないと思う瞬間がありました。思えばゲームのし過ぎで視力が落ちてしまつていたんだなと思つています。今、野球教室に行つて子供たちに話をすると、時には、スマホのゲームとか楽しいかと思うけども目を大事にしないといけないことは必ず伝えるようにしています。

川内南中の野球部では最後の大会で県大会の地区予選で勝ち上がり、県大会に出場しました。県大会でも勝ち上がつていき

いなと思つていたのですが、初戦で、のちにプロ野球選手となる赤田将吾率いる大崎中に0-3で負け中学校野球は終わりました。

その後、高校の進路について考える時期になり、私自身は甲子園に行きたいという気持ちがあり、当時は鹿実、樟南の2強時代で、どちらかかなという思いがありました。そんなときに小学生の頃に入つていた川内サンダースのみんなと、川内のみんなと川内高校に集まつて甲子園に行こうという話になり、川内北中や川内中央中、川内南中などの仲間が集まることになりました。東郷中に良い外野手がいるみたいだけど、その選手が違う高校へ進学を考えているよ、うだと話を聞けば、友達と自転車で東郷中までその選手を勧誘に行き、みんな川内高校に集まり、甲子園を目指すことになりました。

川内高校へ入学し野球部に入つたのですが、早々に怪我をしてしまひ、そして朝課外などの生活リズムについていけず、野球が思つたようにできず、野球部を辞めたいという時期がありました。今思えば5月病といわれるようなものだったかと思つています。そのことを母親に相談したところ、よく考えなさい。川内高校へ行つて甲子園に行こうと思つたんでしょ。今辞めたらその目標や、集まつた仲間との約束はどうなるの」と論ずるように言われました。その

話を聞いて、自分自身甘かつたなと、気合を入れなおしてなんとか踏みとどまることができました。新しく入学した1年生も、環境や生活リズムの変化でしんどいなと思う時期があるかと思つています。そういえば木佐貫もそんなこと言つてたな、自分も頑張ろうかなと思つて乗り越えてもらえたらなと思つています。

高校2年生の夏休みに、川内高校野球部は甲子園を見に行つて、甲子園でやるんだという気持ちを持ち、その後、四国の強豪校と練習試合をして帰つてくる遠征を行いました。その四国での宿舎において、当時の中迫監督から、部屋に呼び出され「お前の練習態度はなつてない。しっかりやれ。」とお前は仲間みんなの人生を背負つて投げているんだぞ。」と言われ、その当時は理由は理解できませんでしたが、しっかりとやらなければという気持ちになりました。冬のトレーニング時期は月・水・金曜日は練習後、家までの8kmを走つて帰るなど厳しい練習にも耐えました。

その冬を越え、最後の夏の大会に入つていくのですが、夏の大会は決勝で鹿実に1-3で負けてしまひました。決勝まで行つて負けるというのが非常に悔しかつた。あと一つ勝てば甲子園に行けるというところだったので、最後のミーティングでは中迫先生に、申し訳ありませんでしたと、泣きながら謝つたという思い出があります。現役

の川内高校野球部の皆さん、今年新しく、中迫先生の後任として森園先生が来てくれました。森園先生の姉と私は同じ年で、森園先生が小さい時から私は知つています。私は中迫先生と一緒に甲子園に行くことができませんでしたが、みなさんは是非、森園先生と一緒に甲子園に行つてほしいと思つています。高校野球は今振り返ると本当に貴重な経験として残つていますが、やつぱり高校野球は独特な雰囲気があります。野球に限らず、他の部活動をしている生徒も帰宅部の生徒もいると思つています。大人になる過程でのこの時間というのは非常に貴重な時間です。私には2人の娘がいますが、その娘たちを一人前に育てていくとか、学校に通学させていくとかというのは、やはり大変なことだつたんだなと自分が親になつてみて思つています。みなさんの保護者も大変な様子や辛いこととか見せたり、話したりはしないと思つています。今のコロナ禍や地震や戦争で世界が不安定な中で普通の生活を保つていくというのはなかなか大変なことです。恩をきせるわけではないですが、今の高校生活の間は貴重な時間ですので、恩返しをするという気持ちはなくともいいですが、友達と仲良く過ごすと、部活動でしっかりと目標をもつて頑張るとか、そういう姿をみるのが私たち親世代は

なによりの活力になりますので、たまには保護者にもありがたうという言葉を伝えながら、日々を明るく充実させて過ごしてください。

娘二人に勉強を教えることがあるのですが、娘に「なんで勉強しないといけないの」と聞かれることがあります。その時は、自分の選択肢が広がるよと話をしています。これは失敗談ですが、私は大学時代、頑張れば社会の教員免許も取れる学部になりました。私は、プロ野球選手になる一心で、教員免許は取りませんでした。その後なんとか野球選手にはなれたのですが、その野球選手を引退するときに、今後自分に何ができるかなと悩みました。大学時代に勉強を頑張る、教員免許をとつていれば選択肢が広がつたのになという考えが思ひました。今後皆さんが進学したときに、自分に必要ないかなという資格や免許があつたときは頑張つてみて取得してほしいなと思つています。

てきた言葉を忘れたのね。」と言われました。その言葉というのは「実ほど頭を垂れる稲穂かな」でした。全く真逆の態度をしていた私の失敗談です。

ここで本日のタイトル「努力すればいつか必ず」「どんな形であれ」「報われる」という話についていきたいと思います。2006年から5年日記帳というものを付けており、今4冊目に入っています。継続は力なりという言葉があります。継続は力なりという言葉をありますが、続かないものの代名詞で、日記やダイエツトが挙げられますが、私はこの日記帳を意地と根性で続けています。今はこの日記を書かなければ落ち着かないな、ソワソワするなという感じで毎日の習慣になつています。この日記が何かの役に立つというのでは今更にあまりなかつたのですが、講演等で何か話す話題がないかなと探すときにこの日記がすごく役に立ちました。いつ何が役に立つかは分かりませんが、いつか役に立つだろうと日々頑張る努力して行くことが、今日のこの講演のカッコでくくっている「どんな形であれ」という所につながって行くのではないかと、努力をしたら報われるというの、なかなか実際はないんですが、形が違って報われるというケースはよくあると思います。皆さんもなんで勉強するんだろうと思うかもしれないですが、いつかこの川内高校で勉強したというごことは形を変えて役に立つてきます。手ごたえがなかったり、すぐ答えが見つからないかもしれないですが、頑張つて続けてほしいなと思えます。

皆さん川内高校の後輩になりますし、これも何かのご縁なので、こういうご縁を大事にして、日々を生き生き充実して過ごして欲しいなと思います。頑張ってください。

令和4年度
創立記念日講演会
感想文

二年三組 楳山 明澄香

今回の講演会で、努力ってほんとうに少しも無駄にならないんだなと思いました。努力してもそれが必ず報われるとは限らない、という言葉もあって、それでも努力し続けられる人です。頑張っても上手くいかなかったり失敗することだってあるのに、どうしてそれでも頑張れるのか、不思議でした。けど、今日、木佐貫先生のおっしゃっていた、「努力はいつか『どんな形であれ』報われる」の、この「どんな形であれ」の部分が、私にはすごく温かくて優しい言葉のように感じました。私は、今ちょうど、部活があまりのびていなくて、少し悩

三年六組 西川 帆夏

私は今日の講演を聴いて、目標に向かって努力して、その目標が叶う、成功するだけが「努力が報われる」ことではないのだなと思いました。小さな頃からよく「努力は報われる」という言葉を聞いてきましたが、大きくなるにつれて報われないこともあると思うようになってきました。でも、望んでいた結果でなくても、目標が叶わなくても「報われない」ことはないの

三年一組 浦崎 麻奈

今回行われた創立記念日講演会では、その時努力することの大切さを学びました。「努力は必ず報われる」という言葉を私は耳にしたことがあります。正直私はこの言葉が好きではありませんでした。何かと、今まで努力しても自分の望む結果にはならなかつたからです。実際にこの言葉を使う人は、何かしらで成功したからなのだと思っていました。ですが、今回「努力すればいつか必ず」「どんな形であれ」「報われる」という演説を見て私はハツとしました。努力したことは、自分の一番望んでいた結果にはつながりませんでしたが、別の場で役に立っていることに気づきました。どんな形であれ、努力は裏切らないのだと分かり、自分が今まで抱いていた、「努力は必ず報われる」という言葉に対してのイメージが180度変わりました。それに気づけたのも、この講演を受けることが出来たからです。このような時間が設けられたことにとても感謝したいと思います。ですが私は努力することが苦手です。いつも楽な方へ走つてしまいがちです。だから、多少つらいなと感じても少しずつ慣れて習慣化していけるようにしたいです。自分の生活のルーティーンの一つに努力すべきことを入れ、徐々に努力することを積み重ねて行きたいです。今回のこの講演で自分では気づけなかつたことに気づくことができ、自分にとって大切な講演となりました。

ではないか、努力していることには意味がある。「どんな形であれ」「報われる」と思い改めることができました。また私は継続して努力をしないので、努力をする前から弱音をはいていたりいけなかつた。宿題や提出しなければならぬものなどは周りに人がいて見られるから、毎日でもすることができず、単語を覚えるようだったり筋トレをしようと思つても自分だけのことでなかなか継続することができません。木佐貫先生は日記を何十年も書いていて、本当にすごいと思つていました。小さなことの積み重ねができることが大切で、継続をすることが大前提で、努力を続けることには難しいです。まずは悔いの残らないような気持ちで引退できるようにしたいです。そして、コロナの影響で普通とは何なのか考えることが多く、昔より、自分は大変な人に支えられていて感じることが増えましたが親がいてくれるのは当たり前になつていきました。当たり前のように学校に通わせてくれて育ててくれた両親は正直どのくらい大変なのか分からないけど、毎日元気に過ごしてたまには感謝も伝えたいです。

三年三組 北蘭 優

本日はお忙しい中、木佐貫先生の貴重な経験や教訓を私たちに話してください、本当にありがとうございます。自分は吹奏楽部に入っていて、毎日自分も練習の記録をつけるようにしています。その中で、本当にこの記録をつけるのには意味はあるのだろうか、と自分で記録をつけるようにしたのにもかわらず、ふと考えたことがあります。今日の話を聴いて、その記録自体が特効薬になることはいかないかもしれないけど、いつか役に立つことがあるということに気づくことができました。これからは、いつか役に立つ機会があるのを信じてコツコツと続けていきたいと思います。木佐貫先生のお母様の座右の銘が木佐貫先生の優しい語り方や謙虚な姿勢として現れているように感じることができ、とても印象的でした。自分自身も、うぬぼれたり周囲に対して大きな態度をとるのではなく木佐貫先生のような謙虚で思いやりのある人間になれるよう、心がけてゆきたいです。高校三年になり、受験が目の前まで近づいてきています。「少しでも周りの人に恩返しをする」という気持ちで、これからの厳しい受験勉強も乗り越えていきたいと思います。先生の講話を糧に、残り少ない高校生活を充実したものにできるよう頑張ります。

輝け大学一年生



大阪大学
薬学部
常磐 昂

僕はこの春、大阪大学薬学部合格することができました。家族や先生方の支え、友人との協力があったからこそ合格だと思つて感謝があります。また可愛山同窓会の方々にはご支援をいただき、金銭面で心配がなく勉強に取り組む環境を整えることができました。本当にありがとうございました。

川内高校での三年間を振り返ってみると、あつた



鹿児島大学
医学部
鹿児島 真央

私は、この春に鹿児島大学の医学部医学科に合格しました。合格できたのは、家族や先生方、友人をはじめとする私を支えてくださった全ての方のおかげです。また一年間私を川内高校の奨学生として支援してくださった可愛山同窓会の皆様にも心から感謝しています。

川内高校での三年間はあつたという間に過ぎて、た

う間でもとても充実した日々を送ることができました。友達と話したり昼休みに遊んだりする日常や盛りあがり楽しめる行事はとても好きでした。

一方で受験勉強は順風満帆なものではありませんでした。三年の夏に志望校を決めた大阪大学に上げることを決め、その夏に冠模試を受験しましたがD判定でとても不安になったことを覚えています。共通テスト模試でも最後まで目標点には到達できませんでしたが、そんなときに支えてくれたのが友人や先生方でした。ライバルだと思いつく刺激してくれたり勉強を教えてくれたりする友人が幸運な

ことに周りにたくさんいて、一生懸命勉強に取り組みることができました。共通テスト直前の模試で最低点を取つて落ち込んでいた時も励ましてくれて諦めずに頑張ることができました。先生方には忙しいにもかかわらずたくさん個別添削に付き合つていただきました。結果として共通テストでは自己最高得点を取り、二次試験でも逃げ切ることができました。友人や先生方がいなければこのような結果は決して得られなかつたと思います。

受験を通して痛感したこととして、まず受験を控えている在校生の皆さんには、諦めないことと協力すること

が大切だと感じました。「努力は必ず報われる」という言葉を私は耳にしたことがあります。正直私はこの言葉が好きではありませんでした。何かと、今まで努力しても自分の望む結果にはならなかつたからです。実際にこの言葉を使う人は、何かしらで成功したからなのだと思っていました。ですが、今回「努力すればいつか必ず」「どんな形であれ」「報われる」という演説を見て私はハツとしました。努力したことは、自分の一番望んでいた結果にはつながりませんでしたが、別の場で役に立っていることに気づきました。どんな形であれ、努力は裏切らないのだと分かり、自分が今まで抱いていた、「努力は必ず報われる」という言葉に対してのイメージが180度変わりました。それに気づけたのも、この講演を受けることが出来たからです。このような時間が設けられたことにとても感謝したいと思います。ですが私は努力することが苦手です。いつも楽な方へ走つてしまいがちです。だから、多少つらいなと感じても少しずつ慣れて習慣化していけるようにしたいです。自分の生活のルーティーンの一つに努力すべきことを入れ、徐々に努力することを積み重ねて行きたいです。今回のこの講演で自分では気づけなかつたことに気づくことができ、自分にとって大切な講演となりました。

この大切さを感じて学習に取り組みでほしいと思います。胡散臭く聞こえるかもしれませんが、これらは必要のことだと思えます。また学校には、授業進度や課外授業の見直しや生徒の意見、要望を積極的に取り入れて生徒の力で学校をよりよくして行ける体制を整えるなどして、生徒が学力的にも社会的にも大きく伸びていくような学校を作り上げてほしいです。

努力を重ねればおのずと道は開けてきます。僕も感謝の気持ちを忘れず夢に向かって頑張つていこうと思えます。



50年目の青春



どの学問だけではなく、そのような「生き方」も教えてくれた、先生方への感謝の気持ちを忘れず持ち続けてもらいたいと思います。「施して報を願わず、受けて恩を忘れず。人の過ちを言わず、我が功を誇らず。」難しいかもしれませんが、このような言葉を杖言葉として今後の人生を更に逞しく過ごしてもらいたいと願うところであります。

併せて、今回コロナ禍にも拘らずお手を煩わせ、このような機会を作っていただきました、川内高校、及び可愛山同窓会。また、川内高校への寄付金・品へのご支援や卒業式参加限定10人の選定、物故者の法要等にご協力くださいました川高24期同期生の皆様に、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



第74回 卒業式

第74回 卒業式

川内高校24期会 幹事一同

50年前卒業した私たち、田中角栄内閣が「日本列島改造論」をぶち上げ高度経済成長の真つただ中、当時の卒業生数、11クラス509名、高校・大学を問題なく卒業し、サラリーマンとして就職した者や家業を継いだ者、それから50年、現在連絡を取れる者は324名、物故者は把握できている者だけで30名、50年イコール半世紀ではありません、年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられるといえます、時代は違いますが、織田信長は「人間50年 天下の内を比べれば 夢幻のごとくなり 一度生を得て 滅せぬもののあるべきか…」人の世の時の流れの儚さを言っていましたよね。サラリーマンでは、よほどの職を得た者以外は、60歳定年制で退職している者が大半と推測しています。現在の、日本人の平均寿命、女性が約88歳、男性が約82歳であることを考えれば、私たちの人生は、あと10〜20年を残すのみ、皆、一日一日を大切に楽しく過ごしていることでしょう。

10名限定の条件付きです、この条件はだれを恨みようもありません。コロナ禍ですから。そのような状況の中で、卒業式に参列させてもらいました、生徒達は自分たちの孫の世代ではありませんが、卒業式での299名のその立居振舞は、「国歌斉唱」が「国歌静聴」に、「校歌斉唱」が「校歌静聴」に変更され、「仰げば尊し 斉唱」も取りやめ、卒業生一人一人の氏名呼称と返事・起立もないという、コロナ禍における非日常の式典進行も冷静に受け止め、礼儀正しく、統率の取れた姿を見せてくれました。そして在校生代表のしつかりとした送辞、コロナ禍の中でも遅く過ぎた学生生活を振り返った、涙ながらの卒業生代表女子生徒の答辞、そのような姿を見て私たちが本当にパワーをもらいました、これで更に一層、残り少ない人生に、終活に、弾みがつくことと思います。

卒業生たちの、これからの人生は、波乱万丈であるかもしれませんが、それでも生き抜いていこう。大変なことも沢山あるでしょう。しかしながら今日見せてもらった、卒業生たちの姿から、君たちだったらできる、波乱万丈の人生でぶつかる「大変なことを楽しむ気概」を持てる、私たちはそう確信しました。教科や科目な

進路指導部だより

進路指導主任 山口 潤一郎

昨年度は前例のないコロナ禍で様々な行事や大会の中止が多くありましたが、今年度は次第に感染予防対策も確立しつつあり、諸行事などが制限はありませんが開催できるような状況になりました。とは言え、修学旅行は昨年度同様県内実施であったことなど残念な状況は続いていますが、このような高校生活を過ごした第七十四期生がこの三月に本校を巣立ちました。

今年度の受験は、二年目となった共通テスト(マーク式)の全国平均点が五教科総合(九百点満点)で五十点も下がる非常に難しい入試となりました。そのため、この一次試験では得点差が生じにくく、記述式が主となる各大学個別試験(二次)勝負となりました。さらに、最近は国数英理社の学力に加えて、総合的な判断力を有し熱意ある優秀な学生を求めているため一般入試でも小論文や面接を課す大学が多くなっています。小論文や面接という科目はありませんが、受験先決定後に受験する学部にあつた教科の教員が全員で分担し、それぞれの指導を行う体制を本校では整えています。このような体制の中、生徒自身も「文武両道 叡智を磨くわが母校」の精神のもと最後の最後まで粘り強く培った力を発揮し、現役で百三十三名が国立公立大学に合格しました。その中には難関である大阪大学三名、九州大学五名、鹿児島大学医学部医学科、慶應義塾大学の合格も含まれます。また就職では、鹿児島県庁や薩摩川内市役所、京セラ株式会社などに合格しました。いまだコロナ禍は続いており、これまで当たり前であった教育が受けられない逆境にはありますが、本校生徒は、文武両道の校風の中でお互い切磋琢磨し培った能力を大学や専門学校、就職先で十分に発揮し、変化し続ける社会に柔軟に対応、貢献してくれると確信しています。

鹿児島県立川内高等学校

Table with 2 columns: School Name and Count. Lists various schools like 専修各種学校, 呉医療センター, etc.

Table with 2 columns: Position and Count. Lists roles like 鹿児島県庁, 薩摩川内市役所, etc.

令和4年3月 卒業生進路別合格状況

Table with 4 columns: School Type, School Name, Current, Total. Lists universities like 国立大学, 私立大学, etc.

Table with 4 columns: School Type, School Name, Current, Total. Lists colleges and vocational schools like 公立大学, 私立大学, etc.

Table with 4 columns: School Type, School Name, Current, Total. Lists vocational schools like 私立短大, 九州女子, etc.

Table with 4 columns: School Type, School Name, Current, Total. Lists vocational schools like 国立短大, 大分県立芸術文化, etc.

Table with 4 columns: School Type, School Name, Current, Total. Lists vocational schools like 準短大校, 川内職能, etc.

可愛山同窓会

各地区の同窓会の取り組みを取材形式でお知らせします。

東京可愛山同窓会

東京可愛山同窓会の総会は3年連続の中止が決まりました。今年こそはみんなで集まり語り合いたいという要望も届き、役員間でも何とか開催できないものかと検討を続けてまいりました。しかし、開催を決める期限の4月上旬においても東京のコロナ感染者数は8千人を越えており、不透明な状況から本年の総会は見送らざるを得ませんでした。そのため、今年も会報発行は控え会費などはいたただかず、必要な時は特別会計で処理させていただいています。

そのような状況ではありますが、同窓会サークルの一部はそれぞれの事務局が安全対策を施し活動再開を始めております。踊り連「気張いやんせ連」は、3年ぶりに開催される5月15日(日)の渋谷・鹿児島おほら祭りに25名が参加予定。(感染予防対策のため、人数制限されており例年より半数以下になっております。)また、ゴルフ同好会「がらっぱGOGO会」は、5月24日(火)にコンペを企画。28名が参加を予定しています。この記事を書いているのは5月上旬ですが、少しずつ周りが

動き出してきました。来年の初夏には総会が実施され、多くの会員の皆様が笑顔に会えるのではないかと期待しています。今後の活動についてはHPで最新情報をご案内してまいります。 https://enoyama.jp/index.php/tokyo

阿久根可愛山同窓会

先ずは、長い間当会をを務めて頂いた濱田健二氏(川高2期・昭和24年卒・R3年8月90歳没)に「合掌!」 後任に、弁舌爽やかな折田康彦氏(川高3期・昭和26年卒)を迎える事となり、会員一同「ブラボー!」 さて、今回の投稿については、この2年間コロナ禍で「阿久根がらっぱ会」も中止となり話題?のため、私見的随想となりましたので御容赦下さい。

歴史観 人は、お互いに様々な価値観・運命・環境等によってそれぞれだが、男女間の認識改善は近代社会での世界的に重要なテーマとなっている。 また、各家庭で代々受け継がれ

関西可愛山同窓会

コロナ禍になって二年余りが経過しますが、この間三回にわたり、関西可愛山同窓会の総会が中止になりました。 会員からは、「今年は開くのか?」というお問い合わせを何人もの方からいただきましたが、コロナ禍が収束しないので、今年も中止ですとお答えしています。

三年前の総会では世代交代も含めて新たな同窓会のあり方を検討したり、学年ごとの同窓会の開催を呼びかけたり、また、連絡方法はメール等を使って省力化を図るなど、いろいろなアイデアが出されましたが、まだ実現に至らず、これからの課題と考えています。 三年間も皆さんの顔を見ないと、「皆さんどうしておられるかな、元氣かな?」と思っておられるかな、それぞれの学年では、ゴルフコンペをやったり、少人数での集まりは行われているようですが、大勢が集まることにはなかなかならないようです。

福岡可愛山同窓会

代表幹事 牧田 隆

二〇一九年七月より福岡可愛山同窓会の会長を引き受けた牧田隆です。 前会長の新留さんはご存じの様にしてスパーマンでしたが、私は丑年生まれ平凡なタイプです、卒業は昭和四三年二十期になります。 会長を引き受けた年度はまさにコロナ感染拡大の最中でしたので、総会や懇親会も開催できず新留前会長より引き継ぎ指導を受けながら書面決議による総会を実施することから私の同窓会での仕事が始まりました。

またリアルでの総会はできませんでしたが、全会員の皆様を対象に福引き抽選会を行ない、五代焼耐ほか役員の皆様からも提供協力してもらった商品を当選者に直接訪問して手渡したり、郵送したりしてお届けしました。 また恒例の「南風の便り」も九月に発行することができました。 今年は七月三日に三年ぶりにな

熊本可愛山同窓会

会長 小井手清一

令和二年度の熊本可愛山同窓会中止に続き、令和三年度の開催については、昨年十月初めに前会長の岩元さん、林さん、宮田さん、鶴殿さん、私の五人で協議したところ、コロナがまだ終息せずとの結論に達し、令和三年度十一月開催予定を中止と決定し、毎回出席されている同級生の方々に宮田さんから連絡していただきました。 最近の熊本県内のコロナ感染者は日々、減少しており、今年こそは三年振りの熊本可愛山同窓会の開催を実現したいと思っております。

なお、同会の開催については十一月は決定していますが、日時、場所は未定です。 座敷犬に? 散歩にも行けず家の中に閉じこもる座敷犬になってしまふ。 新型コロナウイルス感染拡大で、ついつい出不精になってしまふ。 県内の感染者も五十人にもなると当初は不安であった。

それが県内で四月末974人と治まる気配も無く、その60%が鹿児島市内とあっては密を避けるために同窓会も開けない。
前見島会長から受け継いで二年に一回の同窓会も開けず仕舞い、鹿児島中央駅に近く使い勝手の良かった会場も閉店。
100人を越える会場探しも課題である。

こうした状況の中、低迷中であった県内29のゴルフ場は、健康志向や夜の会食自粛もあって2桁近い入場者で賑わっている。同期の仲間達がプレイを個別で集まり絆を深める動きが目立っているという。

しばらくは個々の集まりを続け来たる同窓会に向けて模索しています。
それぞれ工夫して座敷敷にならぬ様に頑張ります。
鹿児島県可愛山同窓会会長 石走一行

県庁可愛山同窓会

県庁可愛山同窓会は、出先機関を含む鹿児島県庁に勤務する行政職員約160人で構成する職域の同窓会です。

総会は、同窓会本部の役員の方や川内高校の先生方、鹿児島県可愛山同窓会の方など多くの来賓をお招きし、毎年8月に開催しています。

同じ県庁職員でも、日頃の接点が少ないため、貴重な交流の機会であるとともに、来賓の方から川内高校や地元川内の最新の情報を

お聞きできる絶好の機会となっており、毎年楽しみにしています。
しかしながら、新型コロナウィルス感染症の影響で、令和2年度・3年度は、総会を開催できなかったところでした。
今年度の総会の開催も現時点では見通せない状況ですが、例年どおり顔を合わせられるようになることを願っています。

本部可愛山同窓会

この二年各支部も総会がなく、活動の報告に苦慮しているようですが、本部も同様です。六月に行う幹事会で総会の決定をしますが、皆さんにうれしい報告ができるように願っています。なお今年度から事務局長が替わります。素敵な女性の方で、32期の鶴永ひとみさんです。

令和二年度の書面表決で幹事さんへ一五三名発送した結果、一回目回答が四十九名、回答なしの幹事さんに二回目発送で四十四名の回答でした。二回目は、返事のないときは賛成とみなしますと追加を入れ、議事は成立しました。以上報告でした。



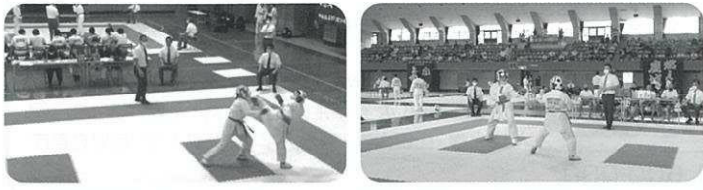
空手道部

一人だからこそ

中間 梨菜

空手道部は、去年三年生一人で活動し、今は部員がいらない状態です。顧問の船迫先生や外部の師範の支援、指導の下、日々稽古を行ってきました。高校から始めた空手道でしたが、流派から始めた個人形三位という成績を取ることができました。

部員が一人という状況の中で稽古を行うことはとても難しく、体力面や技術面など他校の生徒達に比べ、劣っている部分もありました。しかし、一人という状況を活用し、外部の道場に出向き組手の稽古に積極的に参加したり、タブレットで形の動画を撮り、体の細かい部分の動きを客観的に見る工夫をしたりと自分に合った方法で稽古に励んできました。また、新型コロナウイルスの影響で大会が中止になったり、稽古内容が制限されたりと悔しい思いや不自由な思いをしました。その経験から普段何気なく過ごしていた毎日のありがたさを実感するとともに、どんな状況に置かれても自分で考えて行動する



演劇部

「演劇の楽しさ」



この大切さを学びました。残念ながら今、空手道部は部員がいらないため休部中です。少しでも多くの人に空手道の魅力や伝統を知ってもらいたいと思っています。そして、また川内高校空手道部が復活し、空手道の楽しさを知る生徒が増えることを願っています。



私たち演劇部は、現在三年生六人、二年生五人で、可愛山会館の二階和室を使用させていただきながら活動を行っています。秋と冬にある県大会と文化祭が主な発表の舞台になるので、そこへ向けて脚本・配役を決めて演技の練習を重ねたり、小道具を作ったりしています。大会がないときは発声練習などの基礎練習です。「あめんぼあかいなあいうえお」とか聞いたことがあるのではないのでしょうか。部員同士とても仲が良く、意見を出し合いながら創意工夫して一つの舞台を創り上げていく面白さは、

文武両道 英知を磨く 頑張る部活

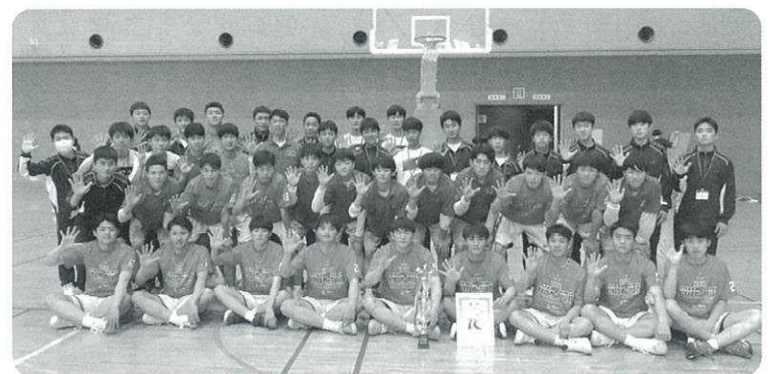
男子バスケットボール部 「地に足つけて」

大原 悠仁

私たち男子バスケットボール部は、三年生六名、二年生十六名、マネージャー二名と新たに多くの新入生を迎え、顧問の安樂先生と田中監督のご指導のもと日々練習に励んでいます。

私たちは全国大会で勝つという目標に向かい日々努力しています。平日は一時間から二時間、休日は二時間半から三時間半という短い練習時間ですが、一人一人が高い意識をもち練習に取り組み、他校との練習時間の差を埋めています。

コロナウィルスの影響で新人戦は中止になってしまいました。伝説ある川内高校バスケットボール部として恥ないよう泥臭く粘り強いプレーでインターハイ予選優勝、インターハイで勝ち上がれるように努力を続けていきたいと思っています。



コロナ禍という大変なご時世ですが、見ている人に勇気を与えられるようチーム一丸となって頑張っていくので、今後とも応援よろしく願っています。

放送部

「更なる高みを目指して」

竹村 美夏

川内高校放送部は、三年生二名、二年生二名、新たに一年生を迎え、顧問の永浜先生、井手尾先生、福島先生のご指導の下、日々練習に励んでいます。昨年度は、新型コロナウィルスの影響で規模



縮小の形とはなりませんが、朗読部門で全国大会、アナウンス、朗読、ラジオドラマの三部門で九州大会出場を果たしました。特にラジオドラマ部門では、奨励賞を受賞し、今年度の夏に東京都で行われる全国総合文化祭に出場することが決定しています。少人数ながらも、こうして結果を残しているのは、練習の積み重ねはもちろん、ご指導くださった顧問の先生方やお世話になった先輩方、日ごろから支えてくださった保護者の皆様などのたくさんの方の助けがあったからであり、心から感謝すべきことだと実感しています。そんな暖かい御支援をくださった周囲の方々へ恩返しするために、小さなことでも地道に努力を積み重ね、成長していきたいです。コロナ禍で不自由なこともありますが、くじけずに部員一丸となって更なる高みを目指していくので、応援よろしく願っています。

他ではなかなか味わえないもので、舞台の上で役になりきって演じる経験は、とても大きな充実感と癖になる熱く不思議な感動を与えてくれます。

昨年度は十一月の県演劇祭は何とか実施されましたが、八月の夏季講習会と二月の県大会は、新型コロナの影響で中止になってしまいました。早く、何の心配もなくステージで劇がやれる日が来てほしいと願うばかりです。

川内高校の先輩たちは、平成十年、十四年、二十年に九州大会に出場なさっていて、特に二十年には最優秀賞をとって全国大会にも選出されました。偉大な先輩たちに少しでも近づけるように、日々精進していきたいと思えますので、これからもご支援よろしく願っています。



「高みを目指して」

男子ソフトテニス部



私たち男子ソフトテニス部は、九名の三年生が引退した後、二年生十名、一年生十二名、マネージャー四名、計二十六名で活動しています。本校OBで外部指導者の崎山コーチ、顧問の小川先生

のご指導のもと、日々練習に励んでいます。

私たちは県大会団体戦ベスト4以上を目標としています。川内高校は文武両道を掲げる学校であるため練習時間は長くありませんが、選手一人一人が意識を高くもち、限られた時間の中で質の高い練習をする心をかけています。目標達成に向けて、まずは当たり前のことを当たり前に行い、一人一人が積極的に声を出し、一人一人が「どうしたらできるようになるか」を考えながら、一球一球集中して全力で臨んでいます。



普段お世話になっている先生方や先輩方、マネージャー、保護者の方々への感謝、そしていつも通り練習を最高の環境でできること、幸せを忘れず、目標を見失うことなく結果を残して恩返ししたいと思います。

水泳部

「志」

西園 勇輝

水泳部は、三年生四名、二年生六名の計十名に新一年生を迎え、日々練習に励んでいます。ほとん



どの部員はスイミングクラブに所属しており、全員がそろって部活動を行うことは減多にありませんが、選手一人一人が意識を高くもち、大会でより良い結果を残せるように心がけています。
川内高校は五十メートルプールがあり、水泳部は練習の目的であれば、いつでも自由に使うことができます。シーズン中はプールで練習し、冬場はブルサイドなどトレッチや筋力トレーニングなどを行います。休日の練習では外部コーチに指導していただき、より質の高い練習をすることができま

ご寄付ありがとうございました。

川内高校奨学会への寄付一覧 【令和3年4月1日～令和4年3月31日まで】

寄付者氏名	卒業期	金額
松永信也様 (創立記念日講演会 講師)	高27期	100,000
T.K様	高22期	300,000
奨学会支援有志(匿名希望)		300,000
川高24期卒後50年寄付	高24期一同	900,000
合計		1,600,000

◆令和4年度奨学生

今年度の奨学生を5月12日開催の川内高校奨学会役員会で3年生6名、2年生5名決定しました。1年生は学内選考会を経て9月の役員会で決定し、奨学金の支給を行います。

◆令和3年度3月卒業奨学生の進路先

この春卒業した奨学生の進学先は、大阪大学(2)・岡山大学・山口大学・熊本大学・鹿児島大学・鹿児島県庁

可愛山同窓会本部・各支部役員名簿

令和4年5月

可愛山同窓会本部 0996-20-2031 (FAX 兼用)		
顧問	山田島 稔	高17期
会長	中俣知大	高20期
副会長	橋口知章	高26期
〃	下 麥 昭一	高30期
〃	愛 川 清	高31期
〃	小田原 浩	高32期
〃	羽 田 美由紀	高33期
監 事	坂ノ上 四雄	高31期
〃	川 原 典 隆	高45期
書 記	森 園 健 太	高54期
会 計	鱒 坂 郁 代	川高事務室
事務局長	鶴 永 ひとみ	高32期

E-mail : s-enoyama@sgr.bbq.jp

関西可愛山同窓会		
会長	山口健一	高20期
副会長	村田靖昭	高12期
〃	有馬洋一	高21期
幹事長	宮野覚蔵	高24期
副幹事長	中野助文	高25期
会 計	金生佐代子	高25期
幹 事	畠山八重子	高22期

※宮野 覚蔵 (06-6433-3340)

宮崎可愛山同窓会		
会長	浜田澄麿	高10期
副会長	川野融	高18期
事務局	村田誠	高24期

※浜田 澄麿 (090-1513-5449)

東京可愛山同窓会		
会長	桐原保法	高17期
副会長	久保信行	高10期
〃	徳丸 律	高21期
〃	渡邊泰久	高26期
〃	久留主泰朗	高30期
幹事長	柏田かおる	高40期
副幹事長	石上聡子	高31期
〃	宇都正信	高44期
〃	入角英樹	高46期
〃	八嶋香織	高46期
〃	吉永美紀	高48期
〃	山田大祐	高64期
会 計	福山伸一	高24期
〃	植村健二	高28期
監 査	山下重孝	高22期
〃	東郷順三	高24期

※柏田かおる (090-7949-8038)

熊本可愛山同窓会		
会長	小井手清一	高17期
代表幹事	宮田和正	高28期
会 計	鶴殿暁子	高43期

※宮田 和正 (096-343-2389)

福岡可愛山同窓会		
会長	牧田 隆	高20期
副会長	寺地明子	高18期
〃	井上 哲	高20期
〃	寺脇之博	高34期
代表幹事	影山裕樹	高31期
副代表幹事	羽子田政則	高41期
〃	田中慎太郎	高40期
幹 事	紙屋まり子	高24期
〃	平山美穂	高42期
〃	大山健一郎	高47期
〃	竹田大作	高43期
〃	奥 大一郎	高48期
〃	小西 渚	高60期
会計監事	圓林龍二	高17期
〃	田中耕二	高21期
代表顧問	新留育郎	高17期
顧 問	香月揚子	高11期
〃	福留久大	高12期
〃	泰平尚信	高13期
〃	西谷和武	高14期
〃	上西治志	高17期

※新留 育郎 (090-5472-4881)

※影山 裕樹 (090-9795-6896)

阿久根ガラッパ会		
会長	折田康彦	高3期
世話役	林勝次郎	高17期

※林 勝次郎 (0996-72-2075)

鹿児島可愛山同窓会		
会長	石走一行	高17期
副会長	武田恭孝	高14期
〃	斎藤義久	高19期
〃	西村眞理	高19期
〃	後藤孝行	高20期
〃	堀之内 隆	高22期
〃	愛甲涼子	高23期
〃	吉野純一	高25期
〃	川畑洋一	高27期
顧問	上小鶴貞子	高女28期
〃	橋本幸雄	高3期
〃	安楽満男	高12期
〃	小島政利	高14期
事務局(総務)	濱田 学	高32期

※平石 征志 (090-9561-6587)

県庁可愛山会		
会長	大園茂生	高33期
副会長	原口義明	高35期
〃	上村清志	高33期
幹事長	鍋田慶一郎	高36期
幹 事	平石征志	高38期
〃	森 能 実	高40期
〃	古屋美咲	高47期
〃(書記)	徳重朋幸	高52期
〃	廣瀬泰孝	高52期
〃	松下一歩	高63期
会 計	福重由香	高43期

※徳重 朋幸 (原子力安全対策課 099-286-2377)

編集後記

私もいろんな発想や考えが浮かばなくなり疲れるようになりまして、次回からは事務局長が32期の鶴永ひとみさんに交代し、彼女が同窓会事務局の仕事にあたってまいりますので、引き続き会員のみなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。

(可愛山同窓会事務局長
丸目幸雄 川高20期)

現在の同窓職員

令和4年4月1日現在

- 校務補助 西田 一彦 (高26期)
- 校務補助 上村 里美 (高28期)
- 事務主事 上馬場 安宏 (高30期)
- 寮 監 野沢 伸一郎 (高32期)
- 事務補助 手打 聖香 (高35期)
- 事務次長 西園 はるみ (高39期)
- 保健体育 森園 健太 (高54期)